

平成 30 (2018) 年度 登録コンクリート圧送基幹技能者認定試験
合格基準および総評について

平成 30 年 10 月 31 日

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

【合格基準】

択一式問題	25 問、50 点満点
計算問題	5 問 (各解答数 3)、30 点満点
記述式問題	問題 1 (800 字)、13 点満点
	問題 2 (400 字)、7 点満点

- ① 択一式問題、計算問題、記述式試験の合計得点数が 50%(50 点)以上
 - ② かつ、択一式問題、計算問題の得点数が 50%(40 点)以上
 - ③ かつ、択一式問題の得点数が 60%(30 点)以上
 - ④ かつ、計算問題の得点数が 60%(10 点)以上
 - ⑤ かつ、記述式試験の合計得点数が 50%(10 点)以上
 - ⑥ かつ、記述式問題 1 の得点数が 50%(6.5 点)以上
 - ⑦ かつ、記述式問題 2 の得点数が 50%(3.5 点)以上
- 以上①～⑦の得点数をすべて満たした者を合格とする。

受験申込者数：91 名 (※実受験者数 88 名) 合格者数：67 名 合格率：73.6%

【総評】

登録コンクリート圧送基幹技能者認定講習会に参加された皆様の積極的な姿勢に、改めて技術を習得しようとする意欲を感じました。特に本年度は熱心な受講生が多く、3 日間の講習は参加者の知識の向上に寄与したものと思います。可否判定は、講習を受ける姿勢ではなく、試験の結果で判定しました。一部の試験が大変よくできていても、一つの結果が判定基準を満たさなく残念な結果となった受験者もいます。資格認定には、すべての内容についての理解を必要としています。再度のチャレンジを期待しています。なお、各試験の結果、以下に気になった評価を示しますので、今後の参考にしてください。

- ・ 計算問題については、計画的な実務に必要であります。理解されている方と理解されていない方との差が大きいと感じました。圧送作業に必要な計算に関する知識の修得に心掛けてください。なお、登録講習で実施したアンケート調査から、事前に過去の試験問題にチャレンジした方は高得点であるとの結果が出ています。得点の低かった方は、受験に向けた準備が足りないと感じられました。登録基幹技能者に必要な計算の知識は、3 日間の講習を受けただけで習得できるものではありません。過去の問題や今回の講習で配布された事前課題などに何度も取り組み、再度のチャレンジに備えて下さい。また、これから登録基幹技能者を目指す方々におかれても、受験に向けた事前の学習を重ね、

自分が分からない箇所・質問したい箇所について事前に整理をした上で、講習に望むようにしてください。

- 記述式問題については、出題された項目が書かれていない、字数が大幅に足りない、途中で終わってしまっているなど、文章が書けていない答案が見受けられました。択一式問題が高い得点であっても、記述式問題の答案が書けておらず残念ながら不合格となった方もいました。登録基幹技能者の業務は、現場や元請会社への提案力が必要とされることから、過去に出題された課題に応じた文書の書き方を訓練し、再度のチャレンジに備えて下さい。また、これから登録基幹技能者を目指す方々におかれても、事前に過去の試験問題にチャレンジして、受験に向けた答案練習をしっかりと積んでほしいと思います。
- 試験の合格者にはさらなる研鑽を積まれることを希望するとともに、残念ながら今回不合格となった方々には、次年度に再度のチャレンジを期待しています。